

# 北海道の印刷

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

第 748 号

[Website] <http://www.print.or.jp>

[E-mail] [info@print.or.jp](mailto:info@print.or.jp)

9

2018

平成30年  
9月10日発行

## INDEX

印刷燦燦	3
平成30年度第4回理事会	4・5
平成30年度全道合同委員会・上期北海道地区印刷協議会	6・7
第12回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション作品募集	8・9
第24回北海道青年印刷人フォーラム・平成30年度全国青年印刷人協議会案内	10
「胆管がん問題」で啓発書発刊案内	10
『100分でわかる著作権と契約交渉セミナー』案内	11
平成30年度DTP技能検定案内	11
FFGS主催経営セミナー2018案内	12
新規加入組合員紹介	12

《表紙》モエレ沼芸術花火(9月 札幌市)

—札幌市内の花火大会が減少したのを受けて、「子どもたちに明るく元気な未来を残したい」「札幌の新しい文化を創造したい」という想いで、市民有志の手で実現した、国内トップレベルの芸術的な花火大会です。

北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル  
TEL.011-595-8071/FAX.011-595-8072

UD  
FONT  
by MORISAWA

280  
五穀パルプ配合率100%再生紙を使用

VEGETABLE  
OIL INK

GREEN PRINTING INK  
P-801129  
2018年度印刷技術革新賞  
贈与に準ずる認定を受けています

CSR

この印刷物は、CSRに  
取り組む印刷会社が製作  
した印刷物です。

P-00023

# 印刷 燦 燦

## ジャカルタアジア大会2018について

インドネシアのジャカルタで開催されているアジア大会において、連日、日本選手がこれまでの練習の成果を発揮して、メダルラッシュが続いています。特に水泳の池江璃花子18歳が8種目にエントリーし、すでに4種目で金メダルに輝いております。

2020TOKYOに向けて、怪我やスランプなく成長して欲しいと思います。

期待していたバドミントンは男子が銅メダル、女子は決勝戦進出で8月22日中国と決勝戦が行われ、1970年バンコク大会以来の金メダル目指して頑張りたいと思います。

まだ、競技は継続中で、今後開始される競技がたくさんあり、今後ますます期待が懸かります。

8月21日終了時点で、金メダル12個、銀メダル17個、銅メダル18個の合計47個を獲得しました。前回大会の韓国仁川2014の合計201個を上回る成績を期待しています。

しかしながら、バスケットボールの日本選手代表4名が、公式ウェアで歓楽街を訪れ、女性をホテルに連れ込んで、代表資格剥奪、帰国させられたことは、非常に残念でならない。

バスケットボールは、いろいろな問題をクリアして、Bリーグが発足し盛り上がってきているこの時期に、またこの4名も将来有望な選手であったと思うと、海外派遣で気持ちの緩みが出て、羽目を外してしまったと思うが、公費を使って派遣されているのに、その派遣期間に支給された日本代表ユニホームを着たまま遊びに出るなんて、しかもその場所が、歓楽街だと問題になるのも明白で、日本代表という自覚を持っていて欲しかった。非常に残念です。

おそらく厳しい処分がくだされることになると思いますが、まだまだ若い選手なので、バスケットボール協会が当該選手4名を除名せず、更生プログラムを組んで、なんとか社会復帰が出来るようにバックアップをお願いしたいと思います。

今後の日本のバスケットボール発展のために、切に願います！

(2018年8月21日 記)

北海道印刷工業組合理事 山田 遵  
株式会社山紀 代表取締役



# 北海道地区印刷協議会運営方針を決定

## 平成30年度第4回理事会開催

平成30年度第4回理事会が、8月3日午後1時30分から札幌市中央区のかでる2・7で全道から理事8人出席して開催され、北海道地区印刷協議会運営方針、新しい共済事業としてETCコーポレートカード事業の実施などを決定した。

理事会は、岸理事長のあいさつ、出席者の自己紹介が行われた後、定数報告が行われ、理事長を議長に議事に入った。

最初に、報告事項として、(1)事業実施状況について、北印工組の事業、全印工連の事業、関係団体の事業に大別して、今年度のこれまでの活動状況が報告された。

(2)財務状況について、7月末の貸借対照表、損益計算書、予算対比表、賦課金納入状況が説明された。

次に、議事に移り、(1)平成30年度事業スケジュールについて、組織の拡大、広報活動の強化、未来を創る業界運動の展開、共済事業への加入促進、福利厚生事業の実施、組織・財政状況の検討、創立80周年記念誌編纂の準備を柱とした各事業の実施スケジュールが説明され、決定した。

組織の拡大では、組合員ならびに賛助会員の加入促進に努める、未来を創る業界運動の展開では、1月10日に経営者研修会として「知らなかったでは済ま



されない労働法と労働基準法改正セミナー」を開催するとともに全印工連の各種事業の啓発を行っていく。

(2)北海道地区印刷協議会について、(3)北海道地区印刷協議会運営内規について、(4)委員会規約の一部改正(案)について、(5)組合員メリットについてが、一括で提案され、岸理事長から、「地区協を上期と下期の年2回行っているが、北海道地区だけが委員会を行っていない、他の地区は全て委員会を行っている。なぜ北海道は行っていないか」というと、他地区は

## 北海道地区印刷協議会運営方針

【運営】(平成30年度下期より)

- ①通常委員会である、組織共済委員会(植平委員長)、経営革新マーケティング委員会(岡部委員長)、環境労務委員会(大和委員長)、教育研修委員会(西山委員長)、青年部委員会(矢吹委員長)の5つの委員会が地区協の中で分科会を行う。
- ②委員会の委員は、組合員の中から支部長の推薦および委員長が依頼を行う。
- ③支部長は、必ずいずれかの委員会に所属していただく。
- ④年2回の地区協以外にそれぞれの委員会は、各支部持ち回りで、少なくとも年1回以上委員会を開催していただく。
- ⑤委員長は、委員会事業の代弁者として、数値的目標を委員会内で持っていただき、進捗確認を行う。
- ⑥委員会内では、全印工連事業内容の落とし込みをしていただく。
- ⑦地区協において、委員長は、年間を通して委員会で話し合われた内容や支部の状況の発表を行う。
- ⑧地区協において、賛助会員には、事前に各委員会の内容を周知して、いずれかの分科会に出席していただく。
- ⑨地区協において、理事長は、委員会発表を受け、総括を行う。
- ⑩北海道の印刷およびホームページ、メールマガジンを活用し、スピーディーに情報伝達を行う。
- ⑪地区協当日は、理事会を開催する。

いくつかの工組で構成されているが、東京と北海道は単一工組であるのでそういうかたちになっている。運営内規の策定と、委員会規約を運営内規に合わせて改正しようという案である。なぜ組合員メリットと合わせて話をするかというと、組合員の方々がどういうメリットがあるのか分からないということになると、我々がいろいろやっても意味がないということになるので地区協のなかでメリットを輩出していく」と説明が行われた後、審議が行われ、運営方針に基づいて下期地区印刷協議会に向けて周知を図り、推進していくことを決定した。

また、平成30年度下期北海道地区印刷協議会は、平成31年3月8日(金)に札幌市内で開催することを決定した。

(6)HOPE2018の動員について、8月31日(金)、9月1日(土)の2日間、札幌市白石区のアクセスサッポロで展示会とセミナーが開催されるので、全道の組合員に参加の声掛けを行うことが要請された。

(7)平成30年度全印工連組合功労者顕彰候補者について、役員在任10年以上が推薦基準となり、該当す

る井田多加夫氏(株)井田印刷工房・旭川支部)を推薦することを決定した。

(8)新しい北印工組独自の共済事業として、組合員企業の経費削減の一助に資するため高速道路利用料金が割引になる「ETCコーポレートカード事業」を陸自総合協同組合と提携して実施することを決定した。

(9)組合員との取引について、「2018組合員名簿」の印刷発注を全組合員に呼びかけたところ、3社から応札があり、組合員との取引内規に基づき、最低入札価格の株式会社アイワードに発注することを決定した。

(10)賛助会員の加入承認については、本年7月1日付けで下記3社の加入を承認した。

エイチケイエム紙商事株式会社

東洋インキ北海道株式会社

ハイデルベルグ・ジャパン株式会社札幌営業所

(11)全日本印刷産業政治連盟について、岸理事長から理事ならびに監事に対して、加入の要請が行われた。

この後、各支部の活動状況について支部長から報告が行われた。

## 北海道地区印刷協議会運営内規

(目的)

第1条 全日本印刷工業組合連合会(以下「全印工連」)地区印刷協議会設置規程に基づき設置する北海道地区印刷協議会(以下「協議会」)の組織および運営に関し、本内規を定める。

(役員)

第2条 協議会には次の役員を置く。

(1)会長 1名

(2)副会長 若干名

(3)幹事 若干名

2. 役員の内任期間は2年とし、北海道印刷工業組合の役員改選期と合わせる。

3. 会長は、理事長が兼務する。

4. 副会長は、副理事長が兼務する。

5. 幹事は、会長の命により理事のなかから選出し、会長、副会長を補佐する。

6. 役員に欠員が生じた場合は、必要に応じて補充選任し、その任期は前任者の残任期間とする。

(構成)

第3条 協議会は次の者で構成する。

(1)組合員

(2)賛助会員

(3)青年部委員会委員

(4)その他会長が推薦した者

(地区委員会)

第4条 全印工連地区印刷協議会設置規程第6条に定める地区委員会のほか、協議会として、次の委員会を設置する。

(1)青年部委員会

(運営)

第5条 協議会は、原則として年2回会長が召集し、全印工連地区印刷協議会設置規程第4条に定める事業のほか、全印工連事業の周知・啓発ならびに協議会独自の研修会、見学会、懇親会等も開催できるものとする。

(会計)

第6条 運営に必要な経費は、全印工連助成金、臨時会費および諸会議費を充当する。

(付則)

1. 本内規は平成30年8月3日より施行する。

2. 本内規の改正は、理事会に諮り決定する。

(平成30年8月3日制定)

# 地区協改革を推進

## 平成30年度全道合同委員会・上期北海道地区印刷協議会

平成30年度全道合同委員会・上期北海道地区印刷協議会が、7月6日午後1時から札幌市中央区のガーデンシティ札幌駅前で開催され、岸理事長から今年度の運営指針、各委員長から担当委員会の活動方針などが発表された。

### 平成30年度運営指針

### 岸 昌洋 理事長



**私**が今年度以降どのように組合を運営していこうかというのを皆さんに説明したいと思う。今年度の基本としてHAPPY INDUSTRYがある。その前段として、ソリューション・プロバイダーへの進化があり、印刷道があって、2025計画があるが、皆さんに理解を

いただく機会がなかったということもあるので、私が各支部に通わしていただき、説明をしたいと考えている。地区協が上期と下期の2回開催されるがこういう機会を通じて、各委員会がどのような事業を運営しているのかを説明するが、一方通行になってしまっている現状があるので、下期の地区協は委員会ごとに集まりそのなかでディスカッションをしていただいて、それを発表するようにオペレーションしていきたい。さまざまな事業をやっているが、情報が一方通行になってしまうと、そこにメリットがあるかどうかということを示す状態になっていないので、皆さんに説明をして理解をいただいてから、はじめてそこにメリットがあるのかないのかという議論になっていくと思う。この1年でそこをやっていききたい。

8月31日、9月1日にHOPE2018を開催し、展示会とセミナーを行う。時代の変遷で機材展の運営が難しくなっている現状もあるが、賛助会員、メーカー、ベンダーの方と協力しながら運営して、皆さんに最新の設備、セミナーを提供していきたいと考えている。今年はIGASと重なり集客に苦戦するかもしれ

ないが皆さんの理解を賜ればと思う。

### 組織・共済事業委員長

### 植平有治 副理事長



当委員会の大きな目的は、共済制度の推進、組織運営、組合員台帳の3つがある。特に共済制度の推進については全国で13工組が重点推進工組に指定されているが、重点推進工組でなくても常に加入促進をするのは当たり前

の話である。今年は、各社に赴き皆さんに理解を得る運動をやっていききたい。

組織運営では組合員の加入促進が一番大きな課題であるので、この委員会だけでなく他の委員会と一緒にやっていかなければならない。各組合員がもう1人仲間を増やそうと本当に真剣になってやっていただければと思う。それもただ入ろうでなく、入ったらどういうメリットがあるのかをしっかりと伝えて何とか加入促進を進めていききたい。

### 経営革新・マーケティング事業委員会 岡部信吾 委員長



当委員会は、大きく分けて3つの事業を行っていく予定をしている。

1つは事業継承支援事業で、後継者問題、事業を続けていくうえでのM&Aを支援する事業を行っていく。

今年から税制改正があり相続で大きな優遇を得られるようになった。その支援のなかで「印刷業界のための事業承継ガイドブック」を委員会で発行した。組



合員は1冊3,000円で購入することができる。全印工連で事業承継支援センターを開設している。山田ビジネスコンサルタントと提携して事業承継の相談窓口となっている。利用状況は契約1件、問い合わせ40件で、北海道からの問い合わせは無かった。相談と提案までは無料になっている。

2つ目は経営イノベーション事業で、ソリューション・プロバイダーへのイノベーション支援で、「ソリューション・プロバイダーへのステップアップガイド」を販売している。組合員価格は1,200円である。セミナーも用意している。勝ち残り合宿ゼミの開催は、経営者もしくはそれに準じる次世代の経営者候補者をターゲットに参加人数も20人に限定して合宿形式で開催する。実際に決算書をもとに経営計画の立案を目指す内容となっている。日程等が決まったら知らせるので参加いただきたい。

3つ目はマーケティング事業で、共創ネットワーク通信がある。自社の製品・サービスを全印工連からメルマガで配信する販路拡大のツールとなっている。北海道からの参画はホクラミ1社だけであるが、実際に受注に繋がった実績もあるので利用いただきたい。

### 教育・研修事業委員会 西山 真 副理事長



平成29年度DTP技能検定は、20都道府県で実施し、195人が受検し112人が合格した。北海道は1級1人、2級5人が合格した。また、名称が2019年度から製版職種からプリプレス職種に変更されることになった。

全印工連特別ライセンスプログラムの契約数を増やしていくので協力をいただきたい。アドビCCを通常価格より安く利用でき、Photoshop、Illustrator、InDesignなどの使用頻度の高いアプリのみの特別プログラムがさらに低価格で利用できるのが強みである。全印工連ホームページで簡単に見積りができるようになっているので利用してほしい。

管理会計による収益改善を目的に、管理会計の認識が低い、決算書の見かたが分からない組合員を対象に「管理会計エクセルシート未来会計図」を全印工連ホームページに掲載している。東京工組で作成した小規模印刷会社向け管理会計を活用した「経営見える化ハンドブック」も全印工連ホームページに掲載している。



### 労務・環境事業委員会 大和繁樹 副理事長



北海道のVOC警報器の購入が6社、グリーンプリンティング認定工場が7社、環境推進工場登録がゼロとなっている。環境問題が厳しくな

ってきているのでGP認定工場に取り組んでいただくのが良いと思う。ただGPはハードルが高いという声もあり、環境推進工場登録の制度を行っている。GP認定の前段階の制度であり、GPIにステップアップいただければと思う。

平成28年6月からリスクアセスメントが義務化されている。リスクアセスメントは、会社で使う溶剤・湿し水などの有害性を理解し、どの程度人体に対して有害性があるかを会社側が把握をしておかなければならないことになっている。日印産連のホームページでリスクをExcelシートで算出できるようになっているので参考にしてほしい。

1月10日に「知らなかったでは済まされない労働法と労働基準法改正セミナー」を開催する。労基法が改正され、残業、休暇等が毎年のように変わっているので、就業規則を含めて今一度社内体制を見直していただく内容となっている。

### 青年部事業委員会 矢吹英俊 委員長



全青協の今期の活動テーマは、「ビジネスモデルデザイン」決まった。ビジネスモデルを作っていくに当たってエンゲージメント思考が出てきた。共感によって人と人を繋いで

感動を与えていくという考え方である。TDL、スタバといった大手企業は既に取り組んでいる。北海道はコンサドーレ、帯広のソーゴー印刷が地域エンゲージメントとして取り組んでいる。青年部でしっかり落とし込み、9月15日に青年印刷人フォーラムを開催するので理解をするためのディスカッションをしていきたい。

# 第12回メディア・ユニバーサルデザイン コンペティション作品募集

全日本印刷工業組合連合会は、「第12回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」を開催する。

**全**日本印刷工業組合連合会は、各産業界および個々の企業の社会的責任が重要視されている現在、印刷業においてもその責任を果たすためのコンプライアンス活動が求められていることを踏まえ、すべての人に優しく、誰もが快適に利用できることを目的としたユニバーサルデザインの考え方に準じ、デザインや文字など、より多くの人に伝わる情報を提供する「メディア・ユニバーサルデザイン (MUD) 活動」に取り組んでいる。

この取り組みをより強固なものにするために、一般

社会に対してはMUD活動の意義と必要性を広くアピールし、印刷業界においては印刷技術の向上に貢献することを目指して、「メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」を行っており、今年も「第12回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」を開催する。

一般の方だけでなく、高齢者・障がい者や子ども、外国人などすべての人に対して優しいデザインの実現を目的とする斬新なアイデアに富んだ作品を募集している。

主催 全日本印刷工業組合連合会

後援(順不同) 経済産業省

一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会

読売新聞社、朝日新聞社、日本経済新聞社

一般社団法人日本印刷産業連合会

一般社団法人日本プロモーション・マーケティング協会

公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会

公益社団法人日本パッケージデザイン協会

日本図書設計家協会

NPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会

NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構

協力(順不同) 東洋インキ株式会社、株式会社イワタ、EIZO株式会社

株式会社モリサワ、全国印刷緑友会

一般社団法人日本グラフィックサービス工業会・SPACE21

日本青年会議所メディア印刷部会

協賛(順不同) リコージャパン株式会社、コニカミノルタジャパン株式会社

キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ株式会社、富士ゼロックス株式会社

株式会社山櫻

応募期間 2018年8月3日(金)～11月30日(金)

募集作品 高齢者・障がい者や子ども、外国人などに対して、見やすさ、伝わりやすさに配慮したデザイン手法を用いて制作されたもの。

(例) カレンダー・地図・パンフレット・サイン・パッケージ・チラシ・ポスター・ラベル・カード  
ゲームなど

※既成の作品の改善提案の場合は、知的財産権への抵触に注意すること。

※特に既成の自社作品について、MUDに配慮し再制作した“before and after”の作品を広く募る。

応募資格 [一般の部] プロ・アマを問わず、どなたでも応募可能

[学生の部] 大学・短期大学・専門学校・高等学校に在学している学生・生徒

応募対象作品 2017年7月以降に制作されたもの

応募方法 作品1点とデータ1点 (CD-R、DVD、USB等の記録媒体にai/eps/jpeg/pdfのいずれかの形式でアウトライン化して保存したもの) を、出品申込書とともに送付する。

※入選作品に選ばれた場合、提出されたデータをもとに受賞作品集の制作を行う



出品料	応募作品1点につき、一般3,000円 学生は無料
授与賞	<p>[一般の部] 経済産業大臣賞 表彰状・賞金 …………… 100,000円  優 秀 賞 表彰状・賞金 …………… 50,000円  佳 作 表彰状・賞金 …………… 10,000円</p> <p>[学生の部] 経済産業大臣賞 表彰状・図書カード …………… 30,000円分  優 秀 賞 表彰状・図書カード …………… 10,000円分  佳 作 表彰状・図書カード …………… 3,000円分</p>
審査日	2018年12月19日(水)
審査結果発表	審査日より1週間後 入選者にのみ入選通知書を送付
審査基準	<p><b>a</b>メディア・ユニバーサルの観点から、見やすさにおいて優れているもの。  <b>b</b>斬新な発想とアイデアにより、独自の新規性や工夫・技法が考慮されているもの。  <b>c</b>色彩構成だけでなく企画・デザイン・素材などの組み合わせにより、メディア・ユニバーサルの配慮がなされているもの。  <b>d</b>それぞれのメディア（部門）において、実用的かつ機能的なもの。</p>
審査委員	<p>伊 藤 啓（東京大学分子細胞生物学研究所脳神経回路研究分野准教授）  武者 廣 平（NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構理事長）  土 生 英 彦（色覚問題研究グループぱすてる事務局長）  高 橋 正 実（MASAMI DESIGN）  橋 田 規 子（芝浦工業大学デザイン工学部デザイン工学科教授）  日 原 佐知夫（創造意匠）  伊 藤 道 裕（NPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会理事長）  橋 本 博（NPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会事務局長）  三 島 秀 夫（全日本印刷工業組合連合会CSR推進委員会委員長）  浦久保 康 裕（全日本印刷工業組合連合会CSR推進委員会MUD部会長）  一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会担当審査員</p>
表彰式	2019年2月 東京都内で開催予定
知的財産権	<p>(1)応募作品に関する知的財産権は、各権利者に帰属することとする。従って、応募者は応募作品に関して、自ら適切な権利処理を行い、第三者の権利を侵害するものでないことを保証するものでなければならない。</p> <p>(2)応募作品が第三者の権利を侵害していることが判明した場合、また、類似等が認められる場合は、審査対象からの除外、または受賞を取り消す場合がある。</p> <p>(3)入選作品は展示・公開され、応募作品は各種の印刷媒体・ホームページ等に掲載される場合がある。また、その時に一部の加工および翻案を行う場合がある。</p> <p>(4)その他、第三者による権利侵害等の紛争が生じた場合、応募者自らが解決することとし、主催者は損害賠償等の責任を一切負わないものとする。</p>
注意事項	<p>①応募作品およびデータは返却しない。</p> <p>②作品サイズによっては、作品の保管場所や審査会場・展示会場の都合により、実物による出品の受付ができない場合がある。</p>
作品応募先	<p>公益社団法人日本印刷技術協会  「第12回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」係  〒166-8539 東京都杉並区和田1-29-11  電話03-3384-3111/FAX03-3384-3481</p>
問い合わせ先	<p>全日本印刷工業組合連合会  〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館4階  電話03-3552-4571/FAX03-3552-7727</p>



# 第24回北海道青年印刷人フォーラム 平成30年度全国青年印刷人協議会北海道ブロック協議会 のご案内

北海道印刷工業組合青年部事業委員会は、第24回北海道青年印刷人フォーラムならびに平成30年度全国青年印刷人協議会北海道ブロック協議会を下記により開催する。

**今**期の全青協の活動テーマは、「ハイ・サービス企業を目指そう!」。

ソーシャルメディアやスマートフォンが生まれ企業と消費者が双方向で会話ができるようになり、今後ますます人々が繋がり世界が透明化していく。情報が加速度的に伝播する社会でビジネスを成長させるには従業員・顧客・地域からの共感・感動によるエンゲージメントが重要な経営資源になる。

ジメントが重要な経営資源になる。

今年度、全青協では共感・感動によるエンゲージメントを軸としたモデル企業の経営理念・顧客サービス・従業員満足・地域への取組について調査研究を行い、印刷業界の「ハイ・サービス」について提言する。

今回の協議会では、セミナーをはじめ、事例紹介を行いながら進めていく予定である。

記

1. 開催日時 平成30年9月15日(土) フォーラム13:30~17:30 (受付13:00~)  
懇親会18:00~20:00 (会場は当日案内します)
2. 開催場所 松崎ビル3階会議室 (札幌市中央区南1条西1丁目2番 TEL011-242-1516)
3. プログラム  
挨拶…………… 全青協議長 青木 充氏  
アイスブレイク…………… 全青協副議長 矢吹英俊氏  
セミナー…………… 全青協副議長 山本素之氏  
事例紹介…………… 全青協副議長 矢吹英俊 志
4. 会費 フォーラム1,000円 (レジュメ代・運営費) 懇親会4,000円

※参加申込書は、北海道印刷工業組合ホームページ (<http://www.print.or.jp>) からダウンロードできる。

## 中災防「胆管がん問題」で啓発書

中央労働災害防止協会(略称・中災防)は、このほど、『中災防ブックレット③胆管がん問題! それから会社は…』を出版した。

2012年に社会問題となり、印刷業界を揺るがした「胆管がん問題」について、問題の経緯と原因、発生企業の対策や問題に関わった人々の活動をまとめ、「なぜ起きてしまったのか」、「起きてしまったとき企業は何をすべきか」、労働災害防止へのヒントを提供している。

同書では初めに、中災防大阪労働衛生総合センターの遠藤吟史所長が問題発生の経過報告と検証を行っている。

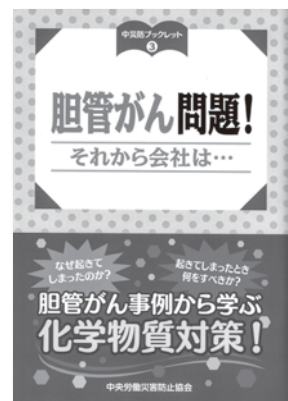
続いて、多数の発症者を出した大阪市のSANYO-CYPを例に、発生当時の状況と発生後の改善対応が報告されている。被災者との和解を機に、経営を引き継いだ山村健司社長は「安全衛生に関する知識が不足していたことで、法令で規制されていない物質は安全と考えてしまった」ことへの大きな後悔と反省のうえに、信頼回復に向けて奔走する。

健診の実施、専門家による説明会の実施、換気装置

の交換、測定結果の公表などの手を打った後、安全衛生委員会を設置し、全社で知識の取得、資格の取得、予防処置の実施、5S活動、作業環境の数値管理などを進めた。

その結果、厚生労働省のあんぜんサイトで事例紹介されるほどの優良作業環境を実現し、現在も終わりにき安全衛生活動およびCSR活動を追及している。

同書は、A5判、中綴じ、52頁、定価500円(税別)。購入申込は、下記サイト(中災防)まで。  
[https://www.jisha.or.jp/order/tosho/index.php?mode=detail&goods\\_cd=24611](https://www.jisha.or.jp/order/tosho/index.php?mode=detail&goods_cd=24611)



# 『100分でわかる著作権と契約交渉セミナー』のご案内 印刷、web、IT関連業界における戦略的法務

～経営者・管理者・営業マン必須の法的基礎知識やその対応ノウハウ～

北海道印刷工業組合と株式会社モリサワは共催で、関西大学法科大学院教授で弁護士の近藤剛史氏を講師に招き、法律実務や知的財産権に関する「100分でわかる著作権と契約交渉セミナー」を開催する。

セミナー参加者には、契約書の基礎知識や秘密保持契約（NDA）など自由に使用いただける契約書の雛形を提供する予定にしている。

また、官公庁自治体などとの受注契約の効果的な契約交渉術を指南いただける。

日 時	平成30年10月12日(金) 15:30~17:30
会 場	かでの2・7 (札幌市中央区北2条西7丁目)
内 容	『著作権・契約書の基礎知識及び契約交渉の手引き』
聴講料	無 料
講 師	弁護士・弁理士 近藤剛史 氏 (近藤総合法律事務所 所長)

※受講申込書は、北海道印刷工業組合ホームページ (<http://www.print.or.jp>)からダウンロードできる。

## 平成30年度DTP技能検定のご案内

厚生労働省の平成30年度技能検定製版職種「DTP作業」が実施される。

DTP作業従事者の皆さまへの教育の一環として活用でき、スキルアップに繋がる。  
平成30年度後期に実施される製版職種「DTP作業」の主な内容は次のとおり。

### 【平成30年度後期技能検定製版職種「DTP作業」】

受 検 申 請 受 付	平成30年10月1日(月)~12日(金)
実 技 試 験 日 程	平成31年1月下旬~2月上旬
実技試験会場 (予定)	北海道立札幌高等技術専門学院 (札幌市東区北27条東16丁目) 北海道立旭川高等技術専門学院 (旭川市緑が丘東3条2丁目) ※受検者数によって1会場になる場合がある。
学 科 試 験 日 程	平成31年2月10日(日)
学 科 試 験 会 場	札幌市・旭川市・函館市・滝川市・北見市・室蘭市・帯広市・釧路市の指定する会場
実 技 試 験 内 容	DTPアプリケーションを使用し、提示された指定書により、支給された課題データを組版・編集し、カラープリンターにより出力する。
受 検 区 分	1級および2級
受 検 手 数 料	実技17,900円/学科3,100円 ※35歳未満の2級実技受検手数料は9,000円減額になる。
受検申請・問い合わせ先	北海道職業能力開発協会または各地方職業能力開発協会

# FFGS主催経営セミナー2018のご案内

富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社は、「経営セミナー2018」を開催する。

インターネット技術を基盤とする新たなビジネスモデルやプラットフォームが次々と登場し、一般消費者および企業の情報発信やコミュニケーションの手段は目まぐるしいスピードで変化、多様化し続けている。

このように印刷業界を取り巻く環境は依然として厳

しい状況が続いており、印刷業の経営は大変厳しい舵取りを迫られている。

同社では、このような大変厳しい時代における印刷経営の参考の一助にと、印刷業の経営者が自ら取り組んだ経験に基づいた講演により、印刷業界を元気にしていくため、「経営セミナー2018」を開催する。

日 時	平成30年10月16日（火）午後2時30分
会 場	富士ゼロックス北海道 2Fセミナールーム (札幌市中央区大通西6丁目1 富士フィルム札幌ビル2F)
テーマ	「～顧客に必要とされるパートナーとなることを目指して～ 激動の時代に、印刷会社の後継者として奮闘した10年を振り返る。」
講 師	株式会社エクシート 専務取締役 出口 淳 氏

※受講申込は、富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ(株)北海道支店（電話011-241-9325）まで。

## 新規加入組合員

山藤三陽印刷株式会社	【代表者】 松岡孝幸
〒063-0051 札幌市西区宮の沢1条4丁目16番1号	
TEL.011-661-7161	FAX.011-661-9570
札幌支部	平成30年9月1日加入





# MEDIA UNIVERSAL DESIGN COMPETITION

THE 12<sup>th</sup>

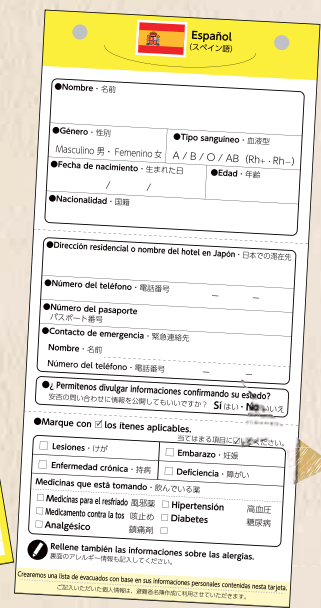
作品募集  
Call for Entries

第12回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション

第11回経済産業大臣賞 一般の部  
コミュニケーションカード

秋田印刷製本株式会社 (秋田県)

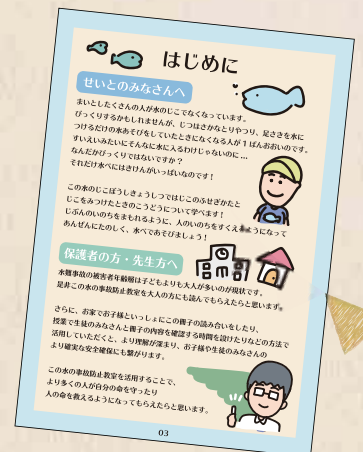
関口 純子、安田 恵光、神成 孝幸、西田 早織、  
三浦 円、菅生 くるみ



第11回経済産業大臣賞 学生の部  
水の事故防止教室

大阪市立デザイン教育研究所 (大阪府)

安藤 綾音



全日本印刷工業組合連合会

